

第1章

計画策定の概要

第1節 計画策定の背景

第2節 計画の位置付け等

第3節 須坂市の高齢者の特徴

第4節 須坂市における高齢者の推移と推計について

第1節 計画策定の背景

1. 平成37（2025）年に向けて

日本の将来の高齢者人口は、団塊の世代（昭和22年～24年生まれ）が65歳以上になる平成27（2015）年には、約3人に1人が65歳以上という状況が見込まれており、須坂市においても、平成37年には75歳以上人口が1万人を超えるであろうと考えられます。

また、須坂市の総人口が減少傾向を示す中で、高齢化率は上昇するなど人口構造ひとつをみても、この10年間で65歳以上の人口と0歳から39歳までの人口が、ほぼ等しくなるなど大きな変化がみられることが予測されます。

高齢者の介護を社会全体で支えるという理念の下、平成12年に介護保険制度がスタートし、平成18年4月から、平成27（2015）年に団塊の世代が高齢者となることを見据え、高齢者福祉の充実と介護保険制度の持続可能性を確保することができるよう、平成24年度～平成26年度には、高齢者が住み慣れた地域で様々な支援を受けながら安心して暮らし続けられるための「地域包括ケアシステム」構築の取組がスタートされました。

今後の須坂市の介護保険制度の将来を見据えていく中で、介護や医療の需要はさらに増加すると考えられ、そのなかで高齢者の生活における様々な場面を地域で支えるしくみを構築していく必要があります。

できる限り住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳をもって自分らしい生活を送ることができる社会の実現に向けて、これまでの考え方を承継しつつ、「地域包括ケアシステム」の充実に向けた取組の強化が求められています。

2. 地域包括ケアシステムの充実に向けて

地域包括ケアの推進については、介護保険の目的が高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援であることから、住まいや暮らし方に対する選択と、自立支援の観点からの総合的なサービスの提供が必要となります。

国では、平成25年12月に、受益と負担の均衡がとれた持続可能な社会保障制度の確立を図るため、「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」（社会保障制度改革プログラム法）を成立させ、社会保障制度改革の全体像やその方向性、進め方などを明示しました。そして、社会保障制度改革プログラム法を踏まえて、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」（地域医療・介護総合確保推進法）が平成26年6月に成立するなど医療・介護のあり方を一体的に見直す動きが本格化しました。

介護面では、「地域包括ケアシステムの構築」と「費用負担の公平化」の2つが大きな柱とされ、在宅医療・介護連携や認知症施策などの充実、全国一律の予防給付（訪問介護・通所

第1章 計画策定の概要

介護)を市区町村が実施する地域支援事業に移行することで、サービス内容の多様化を図るとともに、低所得者の保険料の軽減割合の拡大や、一定以上の所得・資産のある人の利用者負担の見直しを行うこととなります。

これらの改正の中で、高齢者を地域の力で支えて行くためには、様々な主体によるサービス基盤を整備することが重要となります。少子高齢化の続く状況や市区町村の財政状況を考慮した場合に、共助・公助の大幅な拡充を期待することは難しくなっており、自助・互助の果たすべき役割が重要であり、地域力が必要となります。

第2節 計画の位置付け等

1. 計画の策定目的

須坂市では、「高齢者が住み慣れた地域で安心して生きがいをもって暮らせるまち」を目指し、高齢者福祉施策、介護保険事業運営をしてきました。

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、介護・医療・予防・住まい・生活支援が連携し、一体的に提供されるしくみづくりを進めているところです。

平成27年度から平成29年度までを計画期間とする「第七次老人福祉計画・第六期介護保険事業計画」（以下、「高齢者いきいきプラン」）では、団塊の世代すべてが75歳に達する平成37（2025）年を見据えて、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりを目指し、須坂市の高齢者福祉施策及び介護保険サービス体制整備の基本的な考え方、施策を総合的に実行していきます。

2. 計画の位置付け

老人福祉計画は、老人福祉法第20条の8の規定に基づき、福祉サービスや高齢者に関する施策全般を策定します。

介護保険事業計画は、介護保険法第117条の規定に基づき介護保険事業に係る保険給付の円滑な運営について定める法定計画です。

両者については整合性を持って調和させる必要があることから、須坂市ではこれらの計画を一体的に策定します。

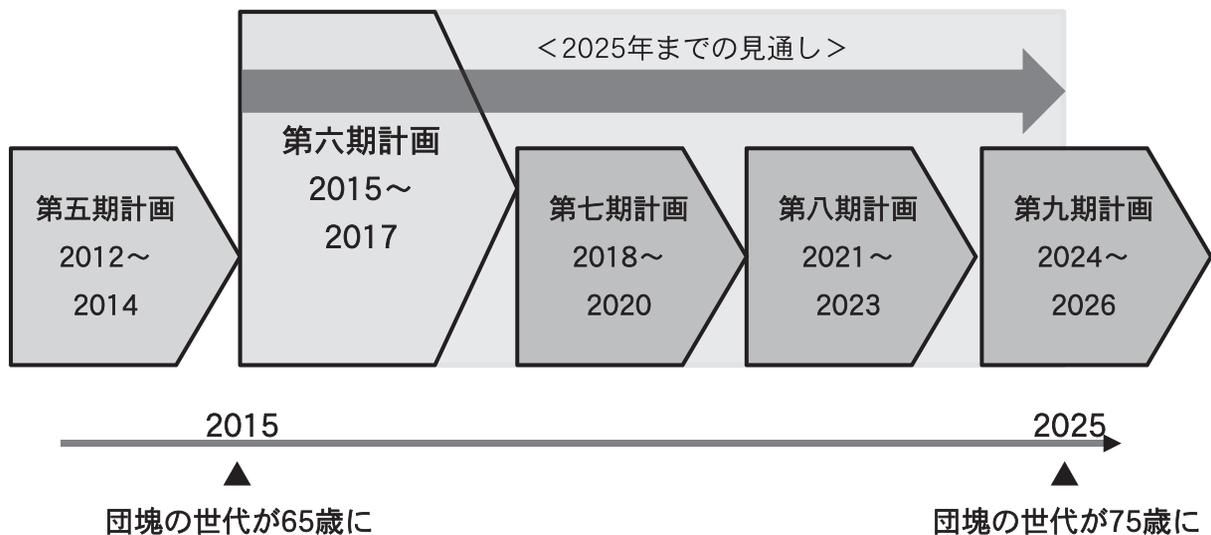
この計画では、「第五次須坂市総合計画」を上位計画と位置づけ、社会福祉法に基づく「須坂市地域福祉計画」健康増進法に基づく「須坂市健康づくり計画」との整合性を図るものとしています。また、県の高齢者プラン（長野県老人福祉計画・介護保険事業支援計画）等、他の計画との整合も図ります。

3. 計画の期間

第六期計画は、平成37（2025）年までの中長期的な視野に立った上で、平成27年度から平成29年度までの3年間を計画期間とします。

2025年を見据えた介護保険事業計画の策定

- 第六期計画以後の計画は、2025年に向け、第五期で開始した地域包括ケア実現のための方向性を承継しつつ、在宅医療介護連携等の取組を本格化していくもの。
- 2025年までの中長期的なサービス・給付・保険料の水準も推計して記載することとし、中長期的な視野に立った施策の展開を図る。



(参考)

第五期計画では、高齢者が地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムを構築するために必要となる ①認知症支援策の充実 ②医療との連携 ③高齢者の居住に係る施策との連携 ④生活支援サービスの充実といった重点的に取り組むべき事項を、実状に応じて選択して位置づけるなど、段階的に計画の記載内容を充実強化させていく取組をスタート

全国介護保険担当課長会議資料を基に作成

4. 計画の進行管理と評価

本プランの実施状況については、年度ごとに地域ケア会議において、本プランで示した方向性や数値目標の達成状況について分析・評価するとともに課題を明らかにし、その対策について検討します。

第3節 須坂市の高齢者の特徴

平成27年1月、県介護支援課発表の県内の高齢化率の状況によれば、須坂市の高齢化率は、29.7%と県内19市中6番目となっています。同時点での介護認定率は14.0%と県内19市中最も低くなっており、高齢化が進む中でも元気な高齢者が多いという特徴を持っています。

また、後期高齢化率は14.5%と県内19市中13番目ですが、今後は後期高齢化率の上昇も見込まれています。

| 順位 | 高齢化率 (65歳以上) | 後期高齢化率 (75歳以上) | 第1号被保険者の認定率 |
|----|------------------|-------------------|---------------------|
| 1 | 大町市 34.3% | 飯山市 19.6% | 松本市 19.9% |
| 2 | 飯山市 33.9% | 大町市 18.5% | 長野市 19.7% |
| 3 | 岡谷市 31.8% | 飯田市 16.7% | 上田市 19.5% |
| 4 | 飯田市 30.6% | 岡谷市 16.3% | 飯田市 19.4% |
| 5 | 千曲市 30.5% | 伊那市 15.7% | 飯山市 19.1% |
| 6 | 須坂市 29.7% | 千曲市 15.6% | 東御市 18.2% |
| 7 | 小諸市 29.2% | 佐久市 15.2% | 佐久市 17.9% |
| 8 | 安曇野市 29.2% | 小諸市 15.1% | 安曇野市 17.8% |
| 9 | 伊那市 29.1% | 駒ヶ根市 15.0% | 中野市 17.7% |
| 10 | 駒ヶ根市 29.1% | 中野市 15.0% | 北アルプス広域連合 17.6% |
| 11 | 上田市 28.8% | 上田市 14.9% | 塩尻市 17.1% |
| 12 | 中野市 28.5% | 安曇野市 14.6% | 諏訪広域連合 17.0% |
| 13 | 諏訪市 28.2% | 須坂市 14.5% | 千曲市 16.4% |
| 14 | 東御市 28.1% | 東御市 14.4% | 伊那市 15.8% |
| 15 | 佐久市 27.9% | 長野市 14.2% | 小諸市 15.6% |
| 16 | 茅野市 27.8% | 諏訪市 13.9% | 駒ヶ根市 14.6% |
| 17 | 長野市 27.6% | 松本市 13.4% | 須坂市 14.0% |
| 18 | 塩尻市 26.4% | 塩尻市 13.4% | 北アルプス広域連合(大町市) |
| 19 | 松本市 26.0% | 茅野市 13.3% | 諏訪広域連合(岡谷市・諏訪市・茅野市) |

平成26年10月1日現在

その中で、平成25年度に実施しました「須坂市高齢者等実態調査」では、県全体の結果とほぼ同様の傾向が見られましたが、高齢者の家族構成を見ると家族との同居が8割を超えるなかでも、65歳以上のみの世帯や日中1人となる頻度が多いとする方の割合が約3割との結果となっており、今後も日ごろからの見守りが必要となる方が急速に増えることが予測されます。また、ご近所との付き合いの程度も、元気高齢者等では半数以上の方が「困ったときに気軽に頼める人がいる」など、お互いに助け合うことが培われてきた地域です。

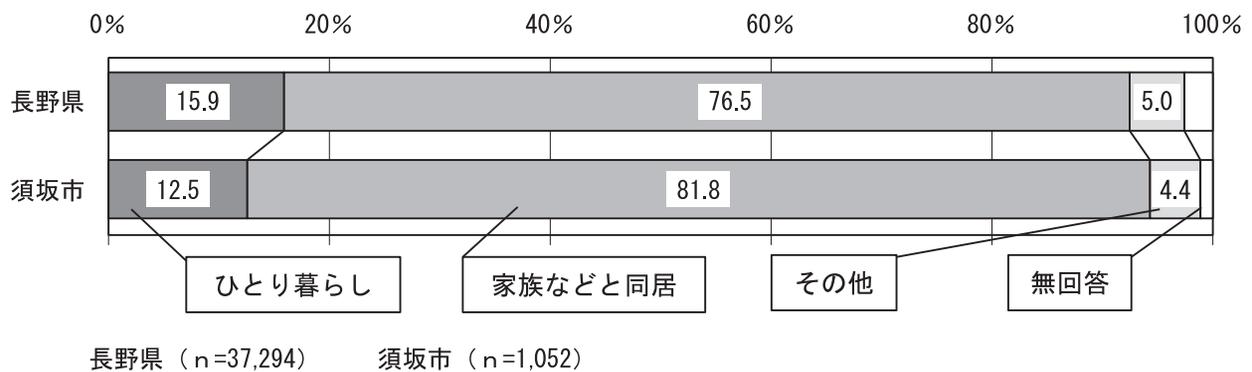
第1章 計画策定の概要

この地域性を発展させ、高齢者福祉サービス、介護保険サービスといった公的なサービスのほかに、高齢者の方自身が、身近な人間関係の中で、自発的に地域の手助けを必要としている高齢者を支える担い手となって活躍できるまちづくりを進めることが必要となります。

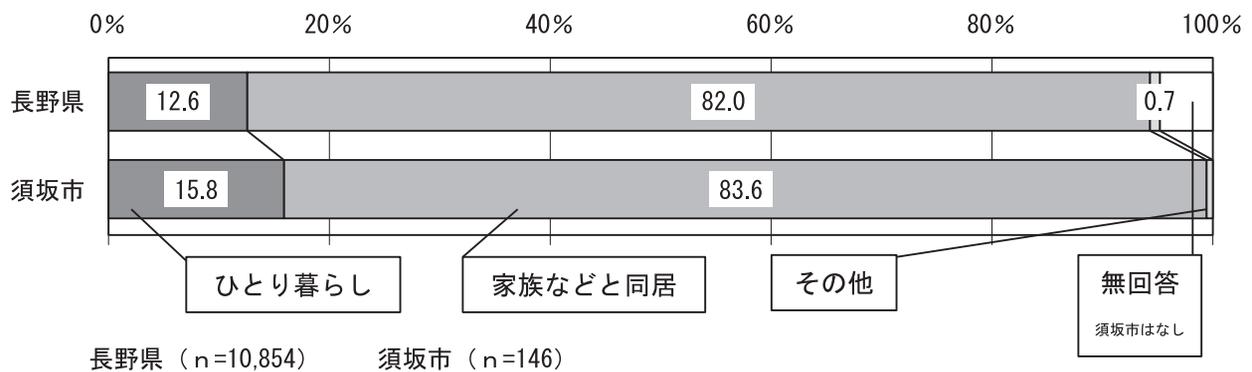
居宅要介護・要支援認定者等実態調査（以下「要介護認定者等調査」という。）
 居宅の要介護・要支援認定を受けている被保険者（第2号被保険者含む。）及びその家族を調査対象として行った調査

元気高齢者等実態調査（以下「元気高齢者等調査」という。）
 要介護・要支援認定を受けていない高齢者を調査対象として行った調査

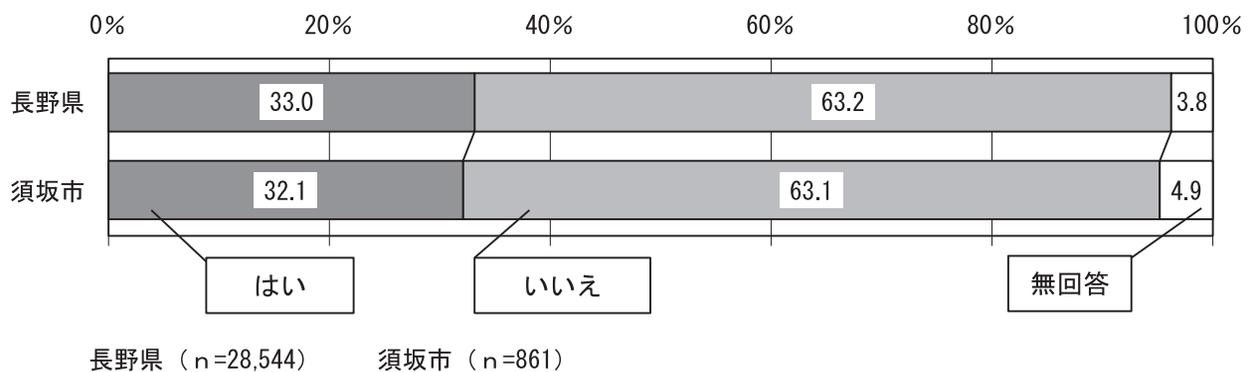
【要介護認定者等調査結果 問1 家族構成】



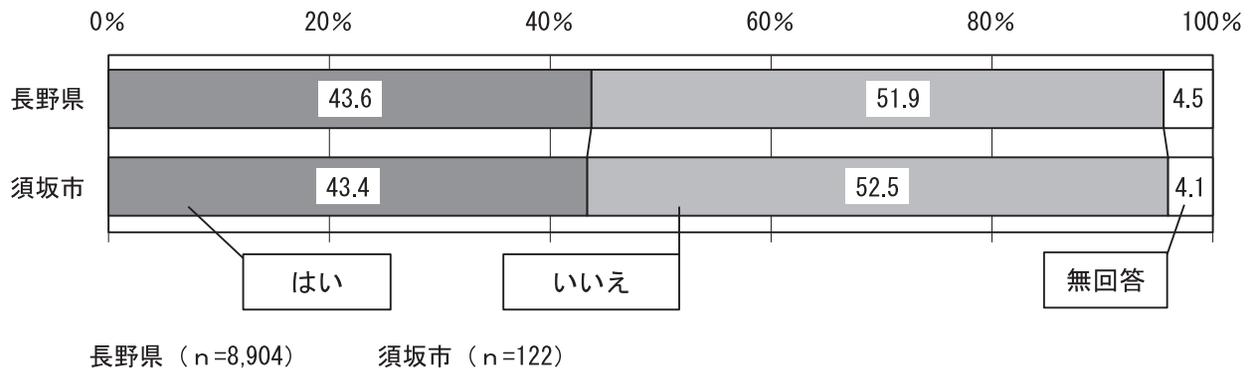
【元気高齢者等調査結果 問1 家族構成】



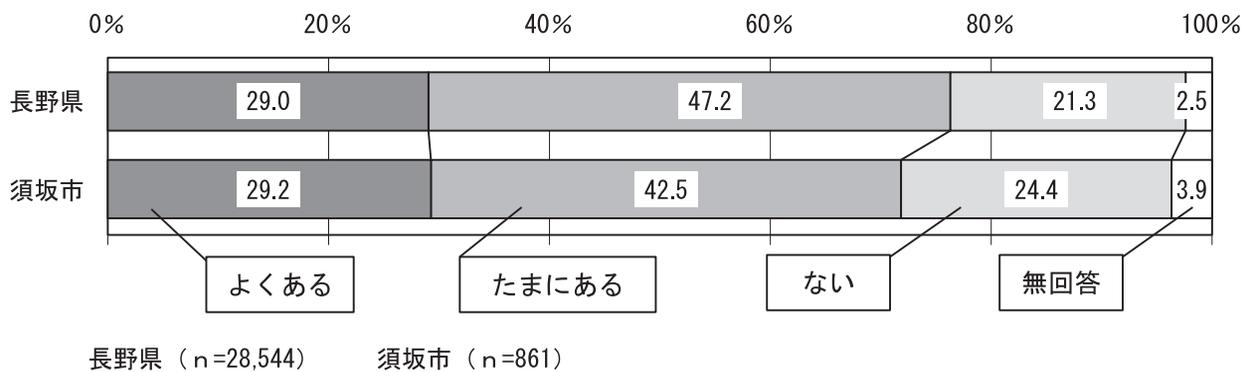
【要介護認定者等調査結果 問1-2 (家族など同居の方のみ) 高齢者(65歳以上)のみの世帯ですか】



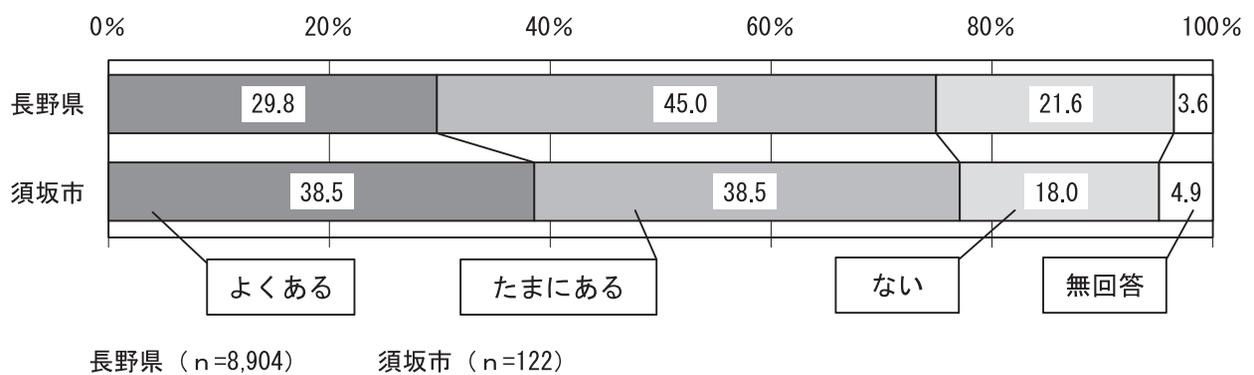
【元気高齢者等調査結果 問1-2 (家族などと同居の方のみ) 高齢者(65歳以上)のみの世帯ですか】



【要介護認定者等調査結果 問1-3 (家族などと同居の方のみ) 日中一人になる頻度】



【元気高齢者等調査結果 問1-3 (家族などと同居の方のみ) 日中一人になる頻度】



第4節

須坂市における高齢者の推移と推計について

1. 人口の推移と将来推計

須坂市における平成26年4月1日現在の高齢者人口は14,900人で、高齢化率は28.9%となっています。平成23年の26.2%から2.7ポイントの上昇となっており、高齢者人口のピークは平成33年で、16,413人であり、平成37（2025）年には、総人口が48,187人と減少する中で、高齢者人口も16,269人と減少しますが、高齢化率は33.8%に上昇します。

平成37年の年齢階層では、65歳～74歳人口が6,160人、75歳以上人口が10,109人となると推計しています。

【P52推計グラフ参照】

2. 要支援・要介護認定者の推移と将来推計

須坂市の平成26年10月1日現在の65歳以上の第1号被保険者における要支援・要介護認定者数は2,090人です。平成23年の1,869人と比較すると、約12%の上昇となっています。認定者のうち、89.7%が75歳以上の高齢者が占めており、年々増加の傾向を示しております。

【P53第1号被保険者の要介護（支援）認定率、認定者数グラフ参照】

3. 須坂市の高齢者像（平成25年度「須坂市高齢者等実態調査」結果）

須坂市では、平成25年度に元気高齢者等実態調査（要支援・要介護を受けていない65歳以上の方）、居宅要介護・要支援認定者等実態調査（施設サービス利用者を除く要支援・要介護認定を受けている原則として65歳以上の方）の調査を実施しました。

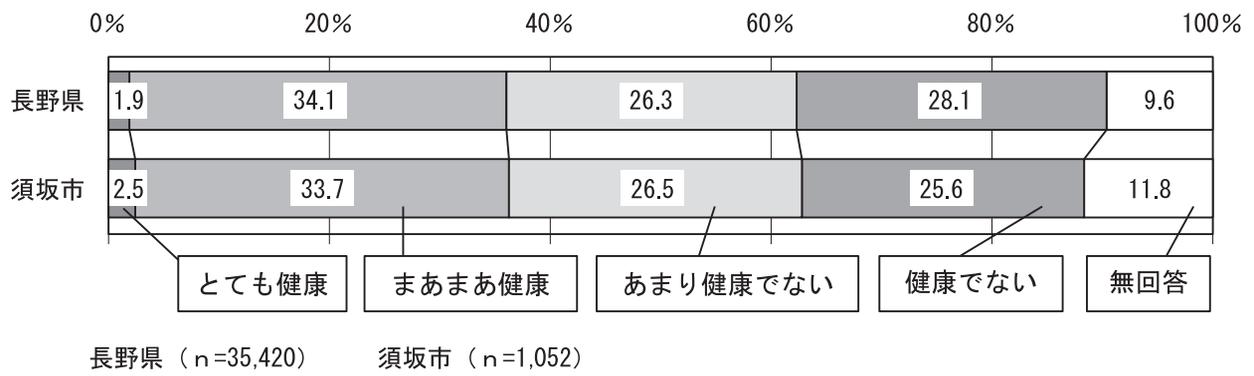
「須坂市高齢者等実態調査」の結果から須坂市の高齢者像について、健康づくりや介護予防、認知症ケア、在宅介護や在宅療養、地域の支え合いに関する意識を整理しました。

（1）健康づくり・介護予防について

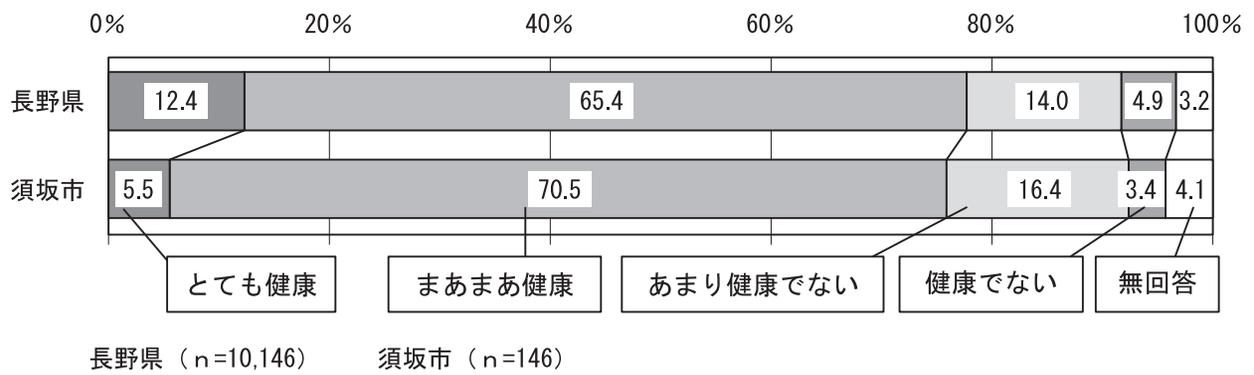
① 健康状態

高齢者の生活の質（QOL）の指標とも考えられる自身の健康感は、「とても健康」「まあまあ健康」と回答している方が元気高齢者等調査では76.0%、要介護認定者等調査では36.2%となっており、県と比較してもほぼ同じ割合になっています。元気であること＝健康感を強く感じることであることが見えてきます。

【要介護認定者等調査結果 問34 健康状況】



【元気高齢者等調査結果 問34 健康状況】

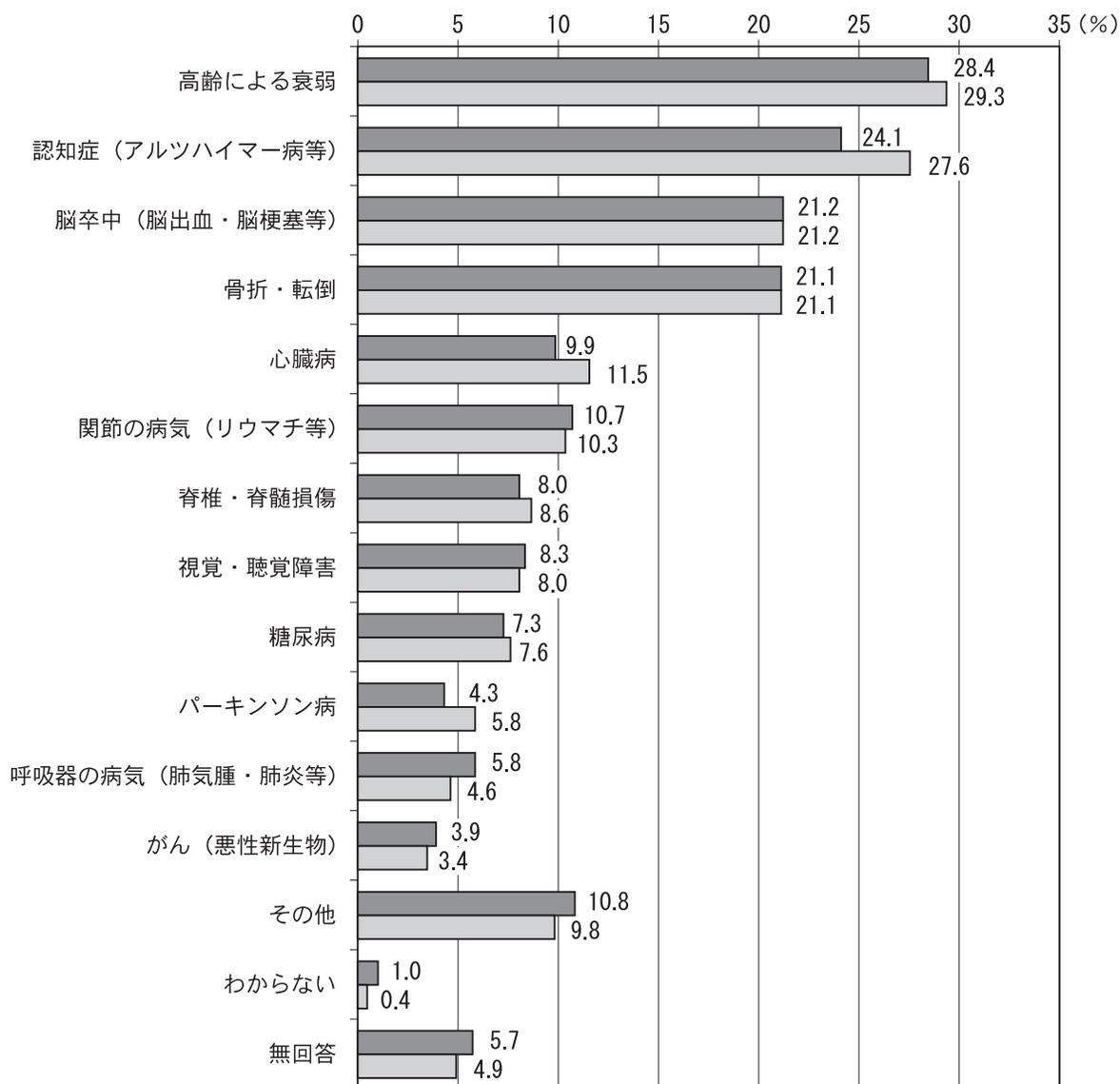


第1章 計画策定の概要

要介護認定者等調査では、介護が必要となった主な原因には、「高齢による衰弱」に続き、「認知症（アルツハイマー病等）」が約3割となっており、県と比較しても認知症の割合が高くなっています。

また、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「骨折・転倒」も多く、様々な要因が複雑に絡み合っていることが伺えます。

【要介護認定者等調査結果 問6-1 (介護が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主原因 (複数回答)】



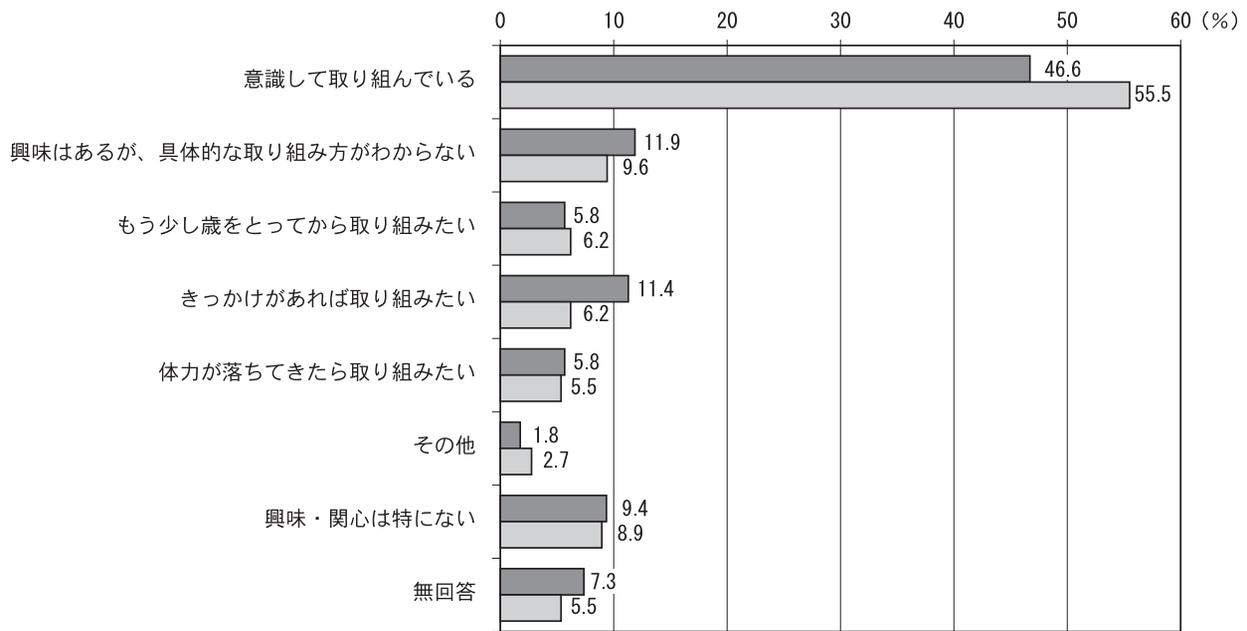
上段：長野県 (n=32,162) 下段：須崎市 (n=939)

② 介護予防

いつまでも自分らしく、元気でいきいきと暮らしていくためには、早期に加齢に伴う心身の機能の低下に気づき、介護予防に取り組むことが大切です。

元気高齢者等調査で介護予防に取り組んでいる高齢者の割合は55.5%で、県より8.9ポイント高くなっており、意識して介護予防に取り組む高齢者が多いと考えられます。

【元気高齢者等調査結果 問41 介護予防への取り組み状況】

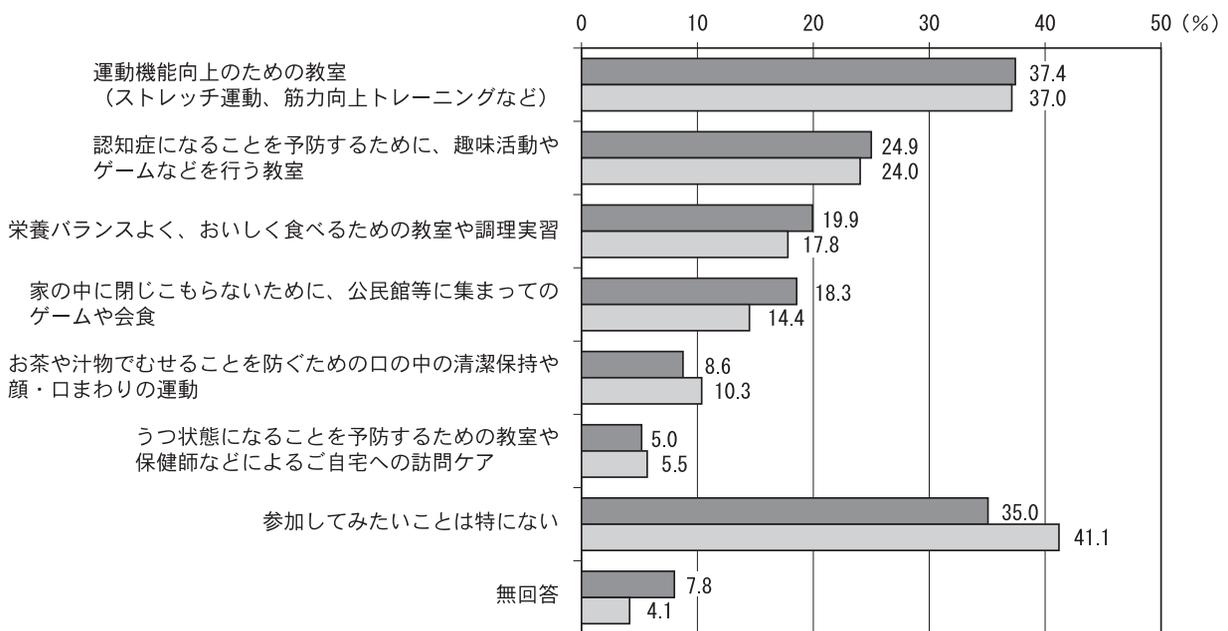


上段：長野県 (n=10,854)

下段：須坂市 (n=146)

参加してみたい介護予防事業では「運動機能向上のための教室（ストレッチ運動、筋力向上トレーニングなど）」が37.0%と最も多く、次いで「認知症になることを予防するために、趣味活動やゲームなどを行う教室」が24.0%となっています。一方で「参加してみたいことは特にない」との回答も41.1%と高く、その理由は「まだ元気なので、すぐには介護予防事業へ参加しなくても大丈夫だから」が40.0%、「普段から畑等に出て農作業をしているので、改めて介護予防事業に参加しなくてもよい」が33.3%となっており、元気と感じて生活している高齢者や『日常生活＝介護予防』と捉えている高齢者も多いことが分かります。

【元気高齢者等調査結果 問42 今後参加してみたい介護予防事業（複数回答）】



上段：長野県 (n=10,854)

下段：須坂市 (n=146)

第1章 計画策定の概要

(2) 認知症について

① 介護が必要となった原因としての認知症割合

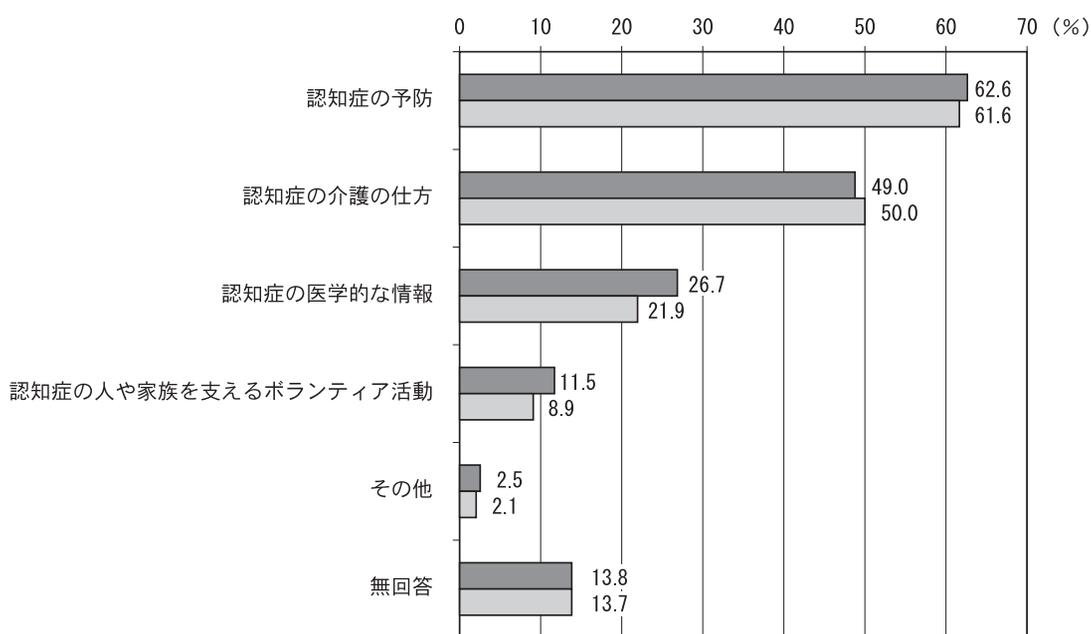
要支援・要介護認定者調査では、認知症が「介護が必要となった主な原因」として2番目に高くなっています。

認知症は、今後到来する超高齢社会の不安要因であり、その数の増加が予測されています。【P12 問6-1 グラフ参照】

② 認知症への関心事項

元気高齢者等調査においても、「認知症の予防」や「認知症の介護の仕方」などが、それぞれ半数を超えており大きな関心事であることが伺えます。次いで2割以上の方が、「認知症の医学的な情報」への関心が見られます。認知症の人と家族を支えるボランティア活動等は8.9%と県の結果を下回っています。

【元気高齢者等調査結果 問52 認知症への関心事項（複数回答）】



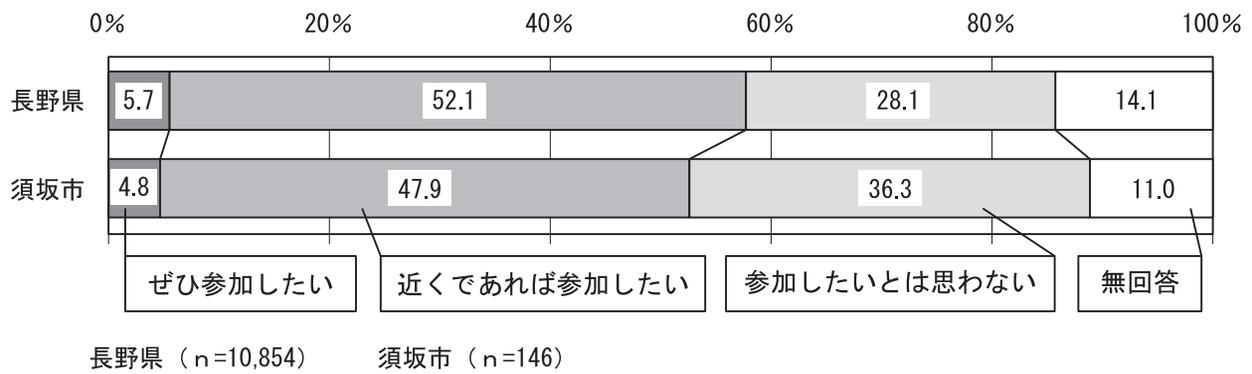
上段：長野県 (n=10,854)

下段：須坂市 (n=146)

③ 認知症サポーター養成講座への参加意向

元気高齢者等調査結果では、認知症サポーター養成講座等への参加意向は高い傾向にあります。しかし、県と比較するとやや低い状況です。「参加したいとは思わない」と回答している人は県と比較して8.2ポイント高くなっています。

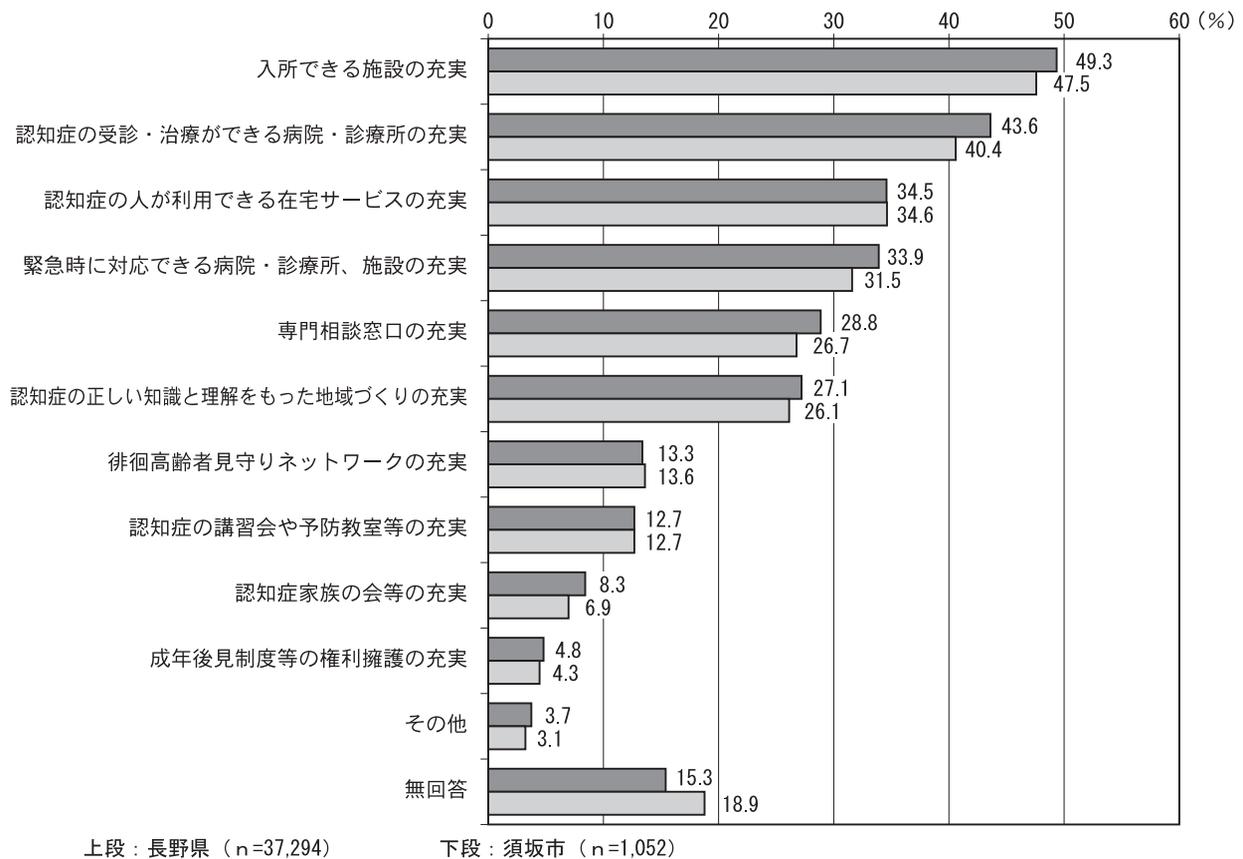
【元気高齢者等調査結果 問53 認知症サポーター養成講座等への参加意向】



④ 認知症高齢者が安心して暮らすための施策

要介護認定者等調査では、認知症高齢者が安心して暮らすための施策として「入所できる施設の充実」が47.5%「認知症の受診・治療ができる病院・診療所の充実」が40.4%「認知症の人が利用できる在宅サービスの充実」が34.6%となっており、入所施設の充実と同様に在宅サービスの充実を求める声が多くなっています。

【要介護認定者等調査結果 問44 認知症の方が安心して暮らしていくための施策（複数回答）】



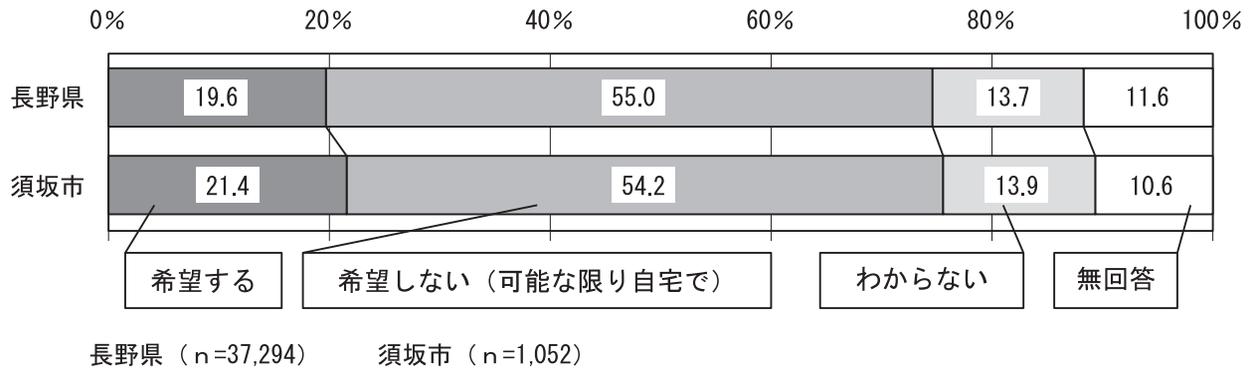
第1章 計画策定の概要

(3) 在宅介護について

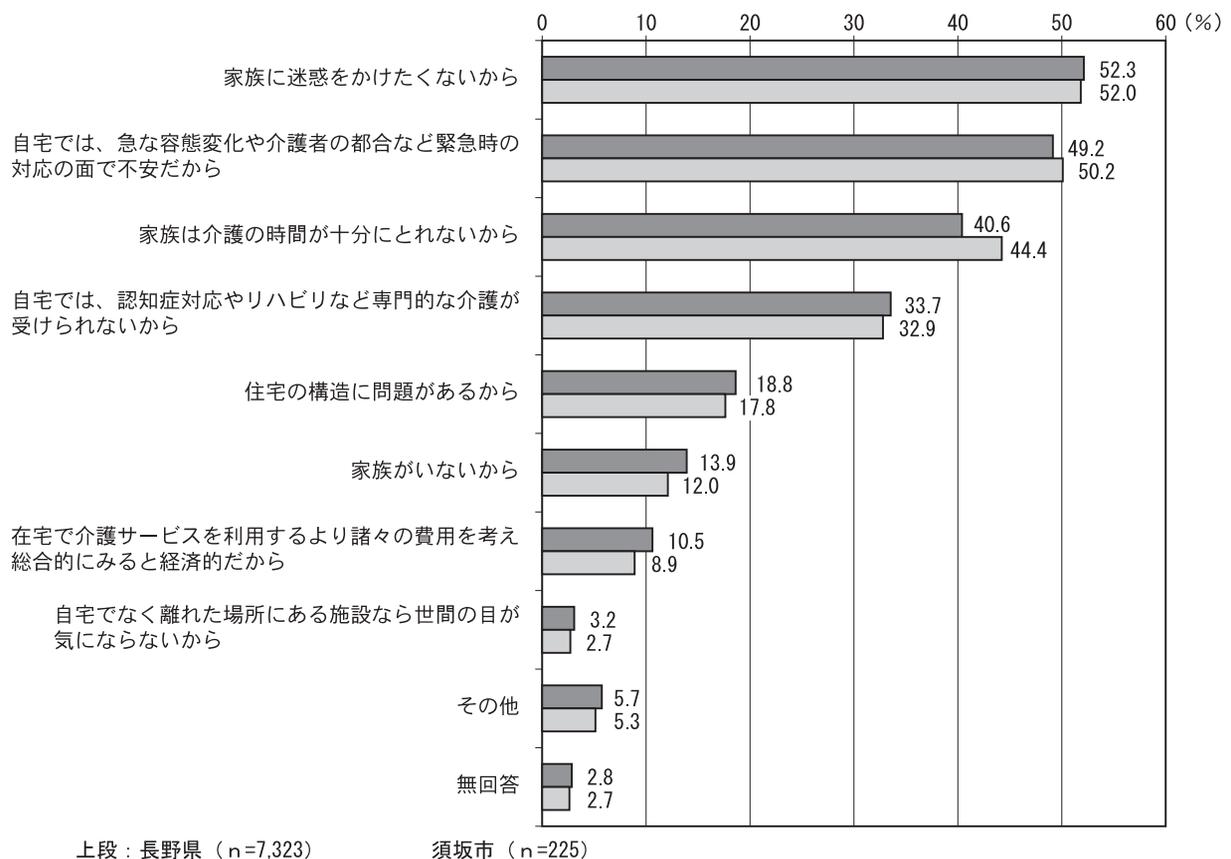
① 生活を続けたい場所

生活を続けたい場所は、要介護認定者等調査、元気高齢者等調査ともに自宅での生活を一番望んでいます。一方、施設等への入所希望の大きな理由は、「家族に迷惑をかけたくないから」が、要介護認定者等調査が52.0%、元気高齢者等調査が71.4%となっていることから、やむを得ず施設を選択されている状況が分ります。

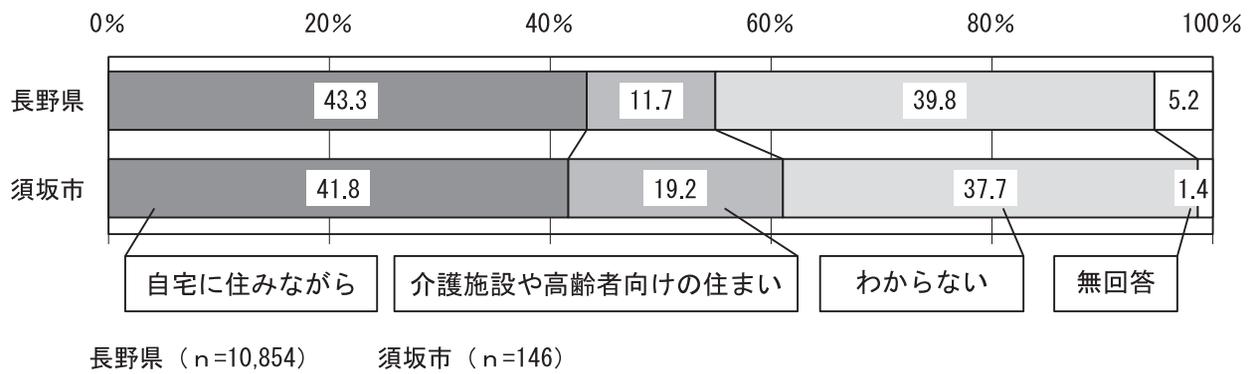
【要介護認定者等調査結果 問47 自宅以外の施設や高齢者向け住まいへの入所（入居）意向】



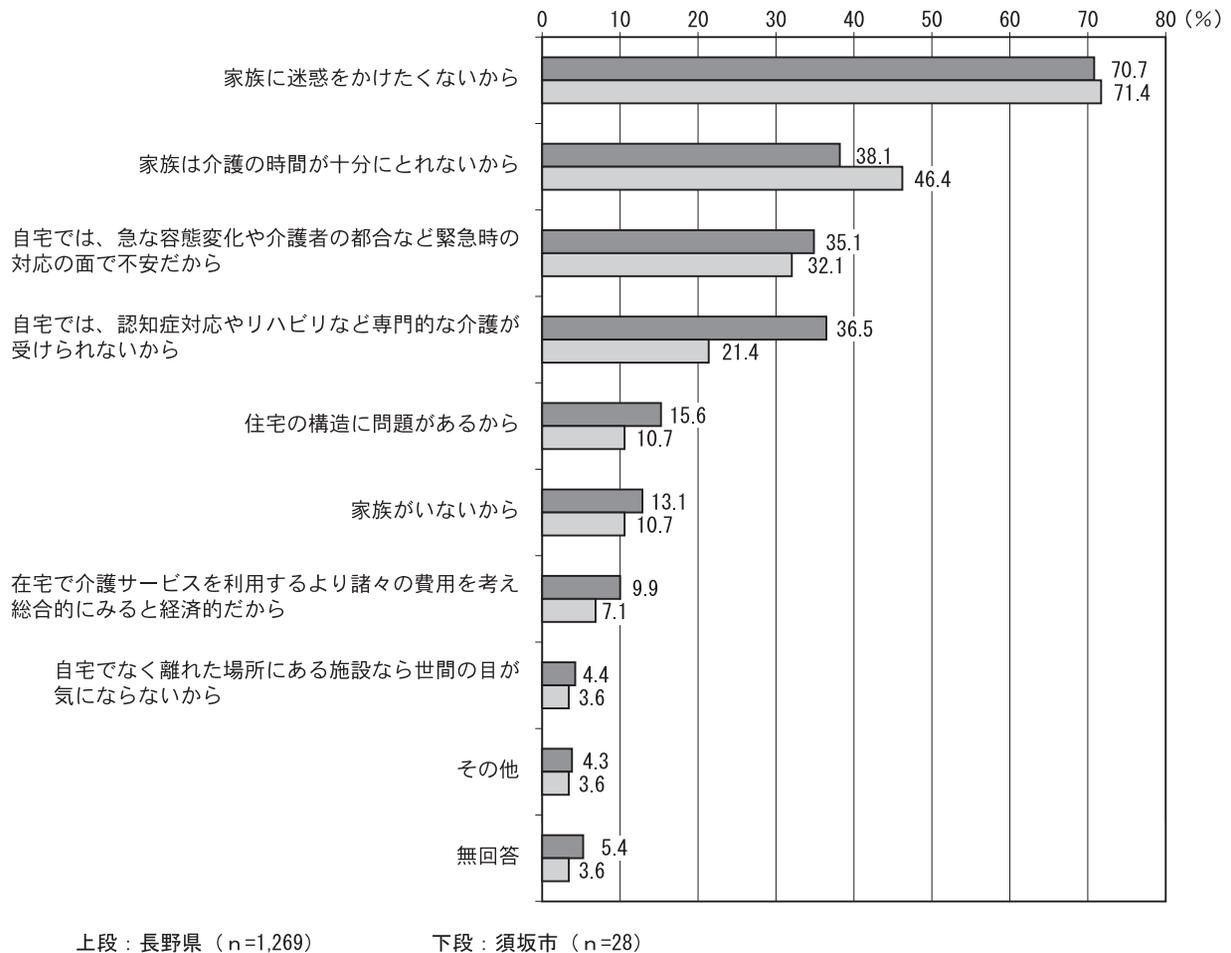
【要介護認定者等調査結果 問47-1 (施設や高齢者向け住まいへの入所（入居）を希望する方のみ) 施設や高齢者向け住まいへの入所（入居）を希望する理由（複数回答）】



【元気高齢者等調査結果 問46 介護が必要となった場合に介護を受けたい場所】



【元気高齢者等調査結果 問46-3 (施設や高齢者向け住まいへの入所(入居)を希望する方のみ) 施設や高齢者向け住まいへの入所(入居)を希望する理由(複数回答)】



(4) 近所の方との付き合いの程度について

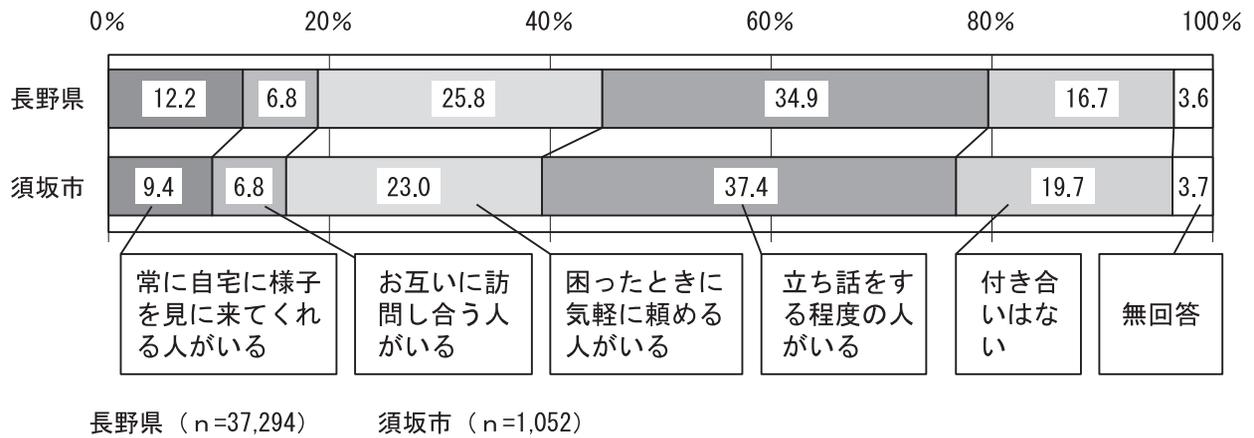
① 地域のつながりの必要性

地域の力は、今後の福祉を考えていく上でも重要な視点です。

元気高齢者等調査では、立ち話をする程度の付き合いまで含めた場合91.0%、要介護認定者等調査では76.6%と回答しています。

第1章 計画策定の概要

【要介護認定者等調査結果 問5 近所の方とのつき合いの程度】



【元気高齢者等調査結果 問3 近所の方とのつき合いの程度】

